



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R5年12月号

『結果を出す人は「修正力」がすごい!』

大西みつる【著】/三笠書房(2023/5)



「修正力」とは、最高の結果を出すため「自分を柔軟に変える力」。基本を見直し、小さな改善を重ねる—そんなシンプルな修正メソッドこそ、成果に繋がる。「失敗」から「結果」は出せる! ポジティブに仕事に向き合える本。

ビジネス
/話題

『日本の歪(ひず)み』

養老孟司・茂木健一郎 他【著】/講談社(2023/9)



この社会の「居心地の悪さ」はどこからくるのか? 敗戦・憲法・天皇・経済停滞・少子化・巨大地震…。「考えたくなかった」戦後日本の論点を徹底討論。三者三様独自の視点から、「日本」そして「日本人」を鋭く分析する鼎談集。

日本論

『客観性の落とし穴』

村上靖彦【著】/筑摩書房(2023/6)



「その意見、客観的な妥当性がありますか?」過剰な数値化崇拜が蔓延する現代。数値への素朴な信仰により無意識に強いられる比較・競争は、私たち自身を不幸にしていいるだろうか。平均化されない個別の生き生きとした「経験」を尊重し、誰も取り残されない社会を目指す。

社会学
/話題

『神山～地域再生の教科書』

篠原匡【著】/ダイヤモンド社(2023/9)



人口5000人の限界集落に、全国から企業や移住者が集まり、プロジェクトが生まれ、イノベーションが起こる。進化し続ける徳島県神山町は「地域再生」モデルとして注目され、多くの視察が訪れる。この町の「強さ」の神髄とは何か。群馬県議会リトリート・温泉文化に関する特別委員会も今年9月に同地を視察!

地方再生

『世界資源エネルギー入門～主要国の基本戦略と未来地図』

平田竹男【著】/東洋経済新報社(2023/5)



激動する世界の資源エネルギーを俯瞰する絶好の入門書。世界を翻弄する資源大国ロシア、脱ロシアに急ぐ欧州、シェール革命のアメリカ、中国のエネルギー戦略、地球温暖化・再エネ対応について網羅。大学で話題の講義を書籍化。

エネルギー
問題

『科学でかなえる世界征服』

ライアン=ノース【著】/早川書房(2023/7)



アメリカンコミックスの原作者でもある著者が、我々が「正当」だと思込んでいる世界文明の「弱点」を見だし、アンチヒーロー的かつ科学的視点から「世界征服する方法」を伝授する異色の書。世界を「より良く」するための陰謀論!?

文明論

『強度行動障害のある人を支えるヒントとアイデア～本人の「困った!」、支援者の「どうしよう…」を軽くする』

西田武志・福島龍三郎【編著】/中央法規出版(2023/9)



「強度行動障害」の行動は、その背景の個性が高く、誰にでも通用する手立てがない。その中で、試行錯誤をしながら魅力ある仕事として支援を続ける従事者のエピソードを掲載。前向きになれる視点、現場で役立つマインドやスキルを紹介する。

障害者
支援

『「助けて」が言えない～子ども編』

松本俊彦【編】/日本評論社(2023/7)



小さな「SOS」に耳を澄ませるために。虐待・いじめ・自傷・ゲーム依存・セクシュアルマイノリティなど「逆境」を生きる子どもたち、その支援者に今伝えたいメッセージ。自傷行為、薬物依存症に関する著作の多い精神科医による、子どもに関わるすべての人に読んでほしい1冊。

子ども
支援

『リサーチのはじめかた～「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法』

トーマス=S=マラニー・クリストファー=レア【著】/筑摩書房(2023/8)



「自分にとって本当に重要な問い」をいかにして見つけるか、またその問いを他人と共有するためにどのように記し、研究を設計するか。「自分の問いから始める研究」を楽しく行う方法を、演習問題を交えてやさしく講義するガイドブック。

スキル
アップ

▶トピックス「女性社会参画」に関する書籍

『政治って、面白い！ ～女性政治家24人が語る仕事のリアル』

三浦まり【編著】/花伝社 (2023/5)



「なぜ政治家になったの？」
「どんな人が向いてるの？」
「落選したら・・・？」
「政治家ってキャリアになる？」
地方議員から国会議員まで、超党派の女性政治家24人が語り尽くす、「仕事の魅力とリアル」。

新着

『だから私はここにいる ～世界を変えた女性たちのスピーチ』

アンナ＝ラッセル【著】/フィルムアート社 (2022/5)



エリザベス1世、マリー・キュリー、ミシェル・オバマ…。性差だけでなく人種、民族、宗教、障害の壁も乗り越え、多様な分野で権利と尊厳のために声を上げてきた女性たち54人の力強い言葉をまとめたアンソロジー。

『スカートと女性の歴史 ～ファッションと女らしさの二〇世紀の物語』

キンバリー＝クリスマン＝キャンベル【著】/原書房 (2023/4)



20世紀に流行したスカートのスタイルを取り上げ、流行の背景と女性の社会進出、女らしさの定義の変遷を明らかにする。ファッションが映し出す時代の価値観、ジェンダー、アイデンティティとは。

『女帝小池百合子』

石井妙子【著】/文藝春秋 (2020/5)



女性初の東京都知事として活躍する小池氏。キャスターから政治の道へ、男性社会にありながら常に「風」を巻き起こし、権力の頂点を目指す彼女の半生、疑惑を綿密な取材で描き切る。第52回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作品。



図書広報委員がおすすめする一冊

『2100年、 人口3分の1の日本』



紹介者：亀山 貴史 委員
自由民主党・桐生市選出・2期

著者：鬼頭宏 /メディアファクトリー(2011年)

私がオススメする一冊は、「2100年、人口3分の1の日本」です。2011年に出版された少し前の本ではありますが、人口推計の数値を基にした人口減少後の社会について語られています。

日本が直面している急激な人口減少の先にある社会はどうか。そうなった場合、現在の社会と何がどう変わるのか。人口減少を悲観するのではなく、想定して備える事が必要ではないでしょうか。世界全体の人口が増加する一方で、日本の人口は減少する。諸外国との日本の関係性や役割などについても考えさせられます。

現在も国や県、市町村で進められている少子化対策などとも照らし合わせながら読み進めるのも面白いと思います。

次号では、相沢 崇文 委員におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課（議会図書室）